



主催を代表して挨拶する福田護 平和運動センター代表



左上から藤本泰成氏(フォーラム平和・人権・環境代表)、持田明彦氏(平和センター関東ブロック代表)、石郷岡忠男氏(厚木基地爆音期成同盟委員長)、新倉裕史氏(ヨコスカ平和船団)

10月1日(月)、横須賀・ヴェルニー公園において、米空母母港化45周年抗議! 原子力空母ロナルド・レーガン横須賀配備抗議母港撤回を求める10・1全国集会(主催 神奈川県平和運動センター・三浦半島地区労)が開かれました。

主催者を代表して福田護弁護士(神奈川県平和運動センター代表)は「この間、横須賀基地から出港した日本最大の護衛艦『いずも』はアメリカのイージス艦補給艦に対する補給活動をしてきている。これはアメリカと北朝鮮の軍事的対立の中、日本が当事者となって組み込まれているということで、その最先端が横須賀基地ということになる」とし、「私たちは安保法制は認めない、違憲な法律は許さない、憲法改悪は許さないという闘いを更に広げよう」と訴えました。

また藤本泰成氏(フォーラム平和・人権・環境代表)は「昨日、沖縄知事選で翁長さんの後継者・玉城デニーさんが勝利した。共に喜び合いたい」とし、「安倍首相はこれまでウソを並び立て、自己の利益のみを追求してきた。戦前の侵略戦争をアジア解放の戦争と言いかえ、多くの犠牲者の姿に目を閉ざしてきた。そんな人に平和も憲法も語る資格はない」と切り捨て、「改憲させない闘いを職場で・地域で広げよう」訴えました。





▶現地報告は石郷岡忠男氏(厚木基地爆音期成同盟委員長)、新倉裕史氏(ヨコスカ平和船団)、集会アピールはI女性会議神奈川県本部事務局長・飯島典子さん。アピールを読み上げ承認されました。

参加者はヴェルニー公園～横須賀基地ゲート前～横須賀商店街～NTT横須賀局前までの約3キロをデモ行進し、「原子力艦船の横須賀配備反対」「海上自衛隊横須賀基地の機能強化反対」「平和で静かな空をかえせ!第五次厚木爆音訴訟勝利」「オスプレイ来るな!厚木に来るな!横田に来るな!」など市民に訴えました。参加者は28団体、1350名。



上は米軍横須賀基地前でシュプレヒコールで訴える参加者、下はデモ行進、28団体1350名が参加

